

平成 2 1 年度 建設局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 1 年度建設局予算要求総括表 1
- 2 平成 2 1 年度建設局経営方針 2
- 3 重点的に取り組みを行うもの 3
- 4 事務事業の見直し等 1 0

1 平成21年度建設局予算要求総括表

【一般会計】

平成21年度要求総額 37,530,481千円
(平成20年度当初予算額 39,591,792千円)
前年度比 5.2%

主な事業 (単位：千円)

事業名	平成21年度 予算要求額 A	平成20年度 当初予算額 B	増減 A - B
道路・街路事業	27,833,426	30,170,939	2,337,513
公園事業	5,979,050	5,709,616	269,434
河川事業	3,294,263	3,308,379	14,116

【下水道事業会計】

平成21年度要求総額 54,280,000千円
(平成20年度当初予算額 53,797,120千円)
前年度比 + 0.9%

平成21年度単年度資金剰余 675,623千円

主な事業 (単位：千円)

事業名	平成21年度 予算要求額 A	平成20年度 当初予算額 B	増減 A - B
浸水対策事業	1,719,000	1,889,000	170,000
地震対策事業	1,102,000	880,000	222,000
合流改善事業	4,521,000	4,951,000	430,000

2 平成21年度建設局経営方針

建設局においては、「人にやさしく、元気なまち」の実現に向けて、新たな産業の立地促進や地域産業の活性化に必要な物流ネットワークの形成、都心・副都心における都市基盤の整備やまちの賑わいづくりのための支援を進めます。

また、近年の局地的豪雨にも対応できる河川・下水道の整備による浸水対策や市民生活に身近な維持管理、バリアフリー化等を推進するため、以下の5つの方針を主要な柱として、取り組んでまいります。

なお、策定中の「北九州市経営プラン」の趣旨を尊重し、厳しい財政状況に対応するため、「選択と集中」による効率的な事業の推進に引き続き努めてまいります。

- (1) 産業の振興や企業誘致を促進する物流ネットワークの形成
- (2) 高質な都市空間とまちの賑わいづくり
- (3) 安全安心なまちづくりの推進
- (4) 環境首都の推進
- (5) 公共施設の効率的な維持管理の推進

3 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 産業の振興や企業誘致を促進する物流ネットワークの形成

産業の振興や企業誘致を促進するため、物流拠点間のアクセスを強化し、広域的なネットワークの形成を図ります。また、地域間の連携を促進し、市民の交通利便性の向上等に資する道路ネットワークの整備を推進します。

- 2 ・ 継続

☀ 主要幹線道路の整備

11,900,333 千円

新若戸道路、国道3号黒崎バイパス、国道199号砂津バイパス、国道211号、砂津長浜線、尾倉ランプ（戸畑大谷線）、都市計画道路9号線（熊谷～高野） など



～ 尾倉ランプ（戸畑大谷線）イメージ ～

(2) 高質な都市空間とまちの賑わいづくり

小倉都心部、黒崎副都心部のまちなかにおいて、道路・公園・河川の整備による高質な都市空間の形成や、それらを活かしたまちの賑わいづくりの支援をおこないます。

- 4 ・ 継続

☀ 勝山公園の整備（H21完成）

170,760 千円

平成21年度の完成に向け、市民プール跡地（市役所南側エリア）を整備します。

- 1 ・ 継続

☀ 中心市街地の道路整備の推進

2,066,000 千円



～ 大門木町線 ～

小倉都心部 大門木町線、紫川東線、
城内大手町線 など

黒崎副都心 黒崎駅前線、
中央町穴生線 など

- 4 ・ 継続

☀ 小倉都心の賑わいづくり

30,300 千円

紫川周辺でのイベント開催
(「百万人のカヌー体験」など)

勝山公園でのイベント開催
(花のおもてなしイベントなど)

⑨ 全国花のまちづくり北九州大会の開催



～ 百万人のカヌー体験 ～

- 4 ・ 継続

☀ 日本風景街道 北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”

9,000 千円



～ 街道ウォーク ～

長崎街道等(門司港～木屋瀬間)において、沿線で活動する団体等と行政が協働し、まちのにぎわいづくりやビジターズ・インダストリーを推進します。

(3) 安全安心なまちづくりの推進

道路や公園のバリアフリー化や、災害に強いまちを目指した河川や下水道施設の整備などに加え、子育てにも配慮した安全・安心なまちづくりを推進します。

- 1 ・ 継続

☀ 浸水対策事業の推進

4,357,587 千円



～ 浸水被害の状況 ～

浸水被害のない安全・安心なまちづくりを目指し、人や資産が集積する中心市街地の紫川、撥川などの河川を重点的に、川幅を広げるなどの河川改修を推進します。

また、浸水被害の解消に向けて、近年の局地的豪雨により、浸水被害が発生した地区の雨水管や側溝の整備を行います。

河川改修 紫川、撥川、江川、板櫃川、金山川、相割川

雨水整備 門司駅周辺地区、枝光駅周辺地区、徳吉・長行地区 など

- 1 ・ 継続

☀ 災害時における緊急輸送道路の確保

860,000 千円

地震時に重要な役割を果たす緊急輸送道路上の橋梁を中心とした耐震補強や法面の補強などを実施します。

- 1 ・ 継続

☀ 下水道の地震対策の推進

1,102,000 千円

重要な下水道施設が被災した場合に被害を最小限に抑えるため、管きよ及び倒壊等により重大な影響を与える施設の耐震対策を行います。

- 1 ・ 新規

☀ 防災情報マップの改訂

13,000 千円

平成16年に作成した「防災情報マップ」の内容を充実し、改めて災害情報の周知と市民の防災意識の向上を図ります。

- 1 ・ 継続

☀ バリアフリーのまちづくりの推進 1,854,500 千円

すべての人々が安全で安心して快適にらせるまちづくりを推進するために、歩道等の整備や公園のバリアフリー化（入口整備、手すり設置など）を推進します。

- 1 ・ 新規

☀ 元気を支える公共空間セーフティ事業 292,000 千円

「元気なまち」を支える身近な公共空間（『道路』『河川』『公園』）の安全性の向上を図るため、防護柵の設置・改修や草刈等の更なる充実に取り組みます。

- 1 ・ 継続

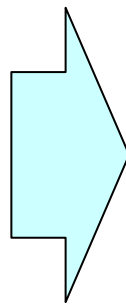
☀ 暮らしにやさしい道事業 200,000 千円

地域と行政が連携して、地域コミュニティの活動拠点である「市民センター」や「子育てにやさしい公園」等に、安全かつ気軽に行くことができるよう、周辺道路の質の向上（既存ストックの活用）に取り組みます。

- 1 ・ 継続

☀ 市民との協働によるあんしん道事業 118,000 千円

地域・学校・行政が協働で通学路の安全点検を行い、カラー舗装など必要な対策を実施します。



～ カラー舗装の例 ～

- 1 ・ 継 続

☀ ハートフル公園計画の推進

75,000 千円

まちづくり協議会を中心に、計画段階から地域の声を幅広く聞き、地域のニーズを踏まえた機能を持たせることで、これまで以上に公園が利用されるように「ハートフル公園計画」を推進します。(モデル4校区で実施)

- 1 ・ 継 続

☀ 親子ふれあい公園づくり事業

120,000 千円

各区の中心となる公園に、地域を越えた子どものふれあいや親同士の交流ができるよう、4歳から学齢前の子どもを主な対象に、子育て広場を整備します。

- 1 ・ 継 続

☀ 子育てに配慮した公園整備

10,000 千円

公園に「乳幼児コーナー」を設置し、乳幼児も安心して遊べる公園を整備します。

平成18年度：9公園

平成21年度：15公園

(2公園/年)



～ 「乳幼児コーナー」(南方二丁目中央公園) ～

- 1 ・ 継 続

☀ 明るく安全なまちづくりの推進

12,000 千円

夜間の通行安全性の向上を目的に、市民からの要望に対し、要件に合致するものについて、街路灯(100W)・生活街路灯(40W)の整備を行います。

(4) 環境首都の推進

「世界の環境首都」の実現のため、下水道施設の整備、環境学習、花と緑のまちづくりなどを推進します。

- 1 ・ 継続

☀️環境学習の推進 11,335 千円

「到津の森公園」「水環境館」「ほたる館」「板櫃川“水辺の楽校”」の4施設の連携による環境学習や紫川水先案内人育成事業などを推進します。



～ 板櫃川“水辺の楽校” ～

- 4 ・ 継続

☀️花と緑のまちづくり 97,100 千円

都市に潤いをもたらす快適な都市景観を創造するため、花のまちづくりや街路樹の整備などを進めます。

- 1 ・ 継続

☀️合流式下水道の改善 4,521,000 千円



～ 未処理下水が流れ出る合流吐き口～

合流式下水道の仕組み上、大雨が降ると未処理下水の一部が、海や川に流れ出してしまうため、雨水を貯留する施設（雨水滞水池）の設置や分流式下水道への改善を行い、水質保全に取り組みます。

藤田ポンプ場、藤田雨水幹線、門司港ポンプ場（雨水滞水池）、高峰初音町幹線 など

(5) 公共施設の効率的な維持管理の推進

都市基盤であり、市民共有の財産である公共施設を次世代に確実に引き継いでいくため、適切かつ効率的な維持管理を推進していきます。

- 3 ・ 継続

☀️ 橋梁の長寿命化への計画的な取り組み

114,000 千円

橋梁の維持管理において、「計画的に手を入れて長持ちさせる」予防保全型の考えを導入し、長寿命化(1)及びライフサイクルコスト(2)の最小化に努めます。

現在実施している定期的な点検を基に、効率的な維持管理を行うための「橋梁長寿命化修繕計画」を、平成21年度に策定します。

- (1) 状態を点検・評価し、予防的修繕をすることにより耐用年数を延命させること
- (2) 新設から維持管理までに要する生涯費用

- 3 ・ 継続

☀️ 道路サポーター事業 20,000 千円

歩道の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動を行っていただける地域の団体を支援し、道路環境の向上と美しいまちづくりにつなげていきます。



～ 河川愛護団体活動状況 ～

- 3 ・ 継続

☀️ 河川愛護団体補助事業 480 千円

河川の清掃や草刈などのボランティア活動を行っていただける地域の団体を支援し、市民と協働による河川環境の保全に努めます。

- 3 ・ 継続

☀️ 公園愛護会補助事業 7,978 千円

市民に身近な公園で愛護会の結成を促進し、除草・清掃等の日常的な維持管理および花壇作りなどを行います。



～ 公園愛護会活動状況 ～

4 事務事業の見直し等

(1) 道路・公園照明灯の見直し

市内の道路や公園の照明灯で使用している約2,400灯の水銀灯を、ワット数は小さいが同等の明るさを持つナトリウム灯に交換することにより、電気料金の縮減を行います。

(2) 道路照明灯設置工法の見直し

道路照明灯の建て替えや移設時は、近くに設置可能な電柱が有る場合、新たに柱を建てずに、この電柱に設置して、工事費用を縮減します。

(3) 有料公園管理の見直し

有料公園の次期指定管理者の選定に合わせ、老朽化したり、あまり利用されていない施設の見直しを行い、一部施設を平成21年3月に廃止します。また、管理水準の見直しを行い、メリハリのある維持管理に取り組みます。

(4) ICP分析装置の活用等による委託費の削減

ICP分析装置（排水中の重金属を測定する機械）の導入等により、検査時間の短縮を図ることで、民間委託している検査業務を削減します。

(5) 効率的な事務執行体制の確立

道路、公園、河川、下水道整備等の局内事業の連携を密にして、より効果的で効率的な事業執行を図ります。

併せて、事業執行体制の見直しを行い、人件費の抑制に努めます。